



TITLE:

ブラジル日食観測計畫進む

AUTHOR(S):

CITATION:

ブラジル日食観測計畫進む. 天界 1939, 20(225): 75-75

ISSUE DATE:

1939-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167924>

RIGHT:

ブラジル日食観測計畫進む

来る1940年十月1日に南米南阿あたりに學界待望の皆既日食がある事は本誌12月號にも記した通り、歐洲に戦争がなければ學者達は多く南阿に出張する筈であるが、目下の國際狀勢では、只、米國學者のみが活躍するだろう。わが山本一清會長は、國際天文同盟日食部委員でもあり、此の際我が日本の學術と文化的餘力を示す上に於いても、是非此の觀測に出張したい希望で、一昨年來、各種の準備調査をしてゐるが、會々此の日食觀測計畫打ち合はせのため、わざわざブラジルから歸朝した天文協會南米支部長神屋信一氏と詳細にわたり相談の結果、いよいよ具體的に計畫を進めることゝなつた。觀測地はブラジル國內に多分3ヶ所を選び、其のうちペルナンブコ市とアカラ市とは確定的である。

觀測隊員は5人乃至10人で東亞天文協會の會員中から之を選出し、觀測器械等は目下整備中である。一行は七月初めに神戸を出帆し、インド洋を経て目的地に向ふ筈であるが、山本博士は米國及び諸所の天文臺歴訪のため、六月に横濱から東航する豫定である。何れにしても、此の日本よりの遠征は、米國の優秀な觀測隊と同時に觀測をする晴れの舞臺なので、日本の朝野は勿論、ブラジル方面の邦人たちの後援も大に期待される。〔急報 393 より〕

質 疑 應 答

問ひ。御手数ながら、下記の事項御教へ願ひます。(長野縣 II 生)

答へ。米國變星協會所在地

A. A. V. S. O. c/o Harvard College Observatory, Cambridge,
Mass. (U. S. A.)

國際天文同盟の本部

I. A. U. c/o Sterrewacht, Leiden. (Holland)

同 上 の總幹事

Dr. J. H. Oort, I. A. U. General Secretary, Sterrewacht, Leiden
(Holland)

大英天文協會觀測部變星課長 Director of Variable stars, Observing Section, B. A. A.

Dr. Ferix de Roy, 15, Benedictus Straat, Mortsels, Antwerp.
(Belgium)

A. G. 協會

A. G. bei Astrophysikalisches Observatorium, Potsdam.
(Germany)

アストロノミシエ・ナハリヒテン編輯長 Redaktor, A. N.

Dr. H. Kobold, 80, Moltke-strasse, Kiel. (Germany)

國際天文同盟第27委員會長

Dr. R. S. Dugan, Princeton University Observatory, Princeton,
N. J. (U. S. A.)

ベルリン市天文計算局

Astronomisches Rechen-Institut, 40, Altenstein-strasse, Berlin-
Dahlem. (Germany)